



2023年3月28日

各 位

会社名 住友林業株式会社
(コード番号 1911 東証プライム)
代表者名 代表取締役 社長 光吉 敏郎
問合せ先 コーポレート・コミュニケーション部長 堀井 俊宏
(TEL 03-3214-2270)

(訂正・数値データ訂正)2022年12月期 決算短信〔日本基準〕(連結)の一部訂正について

2023年2月14日に発表いたしました「2022年12月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」について、一部訂正を要する箇所がありましたので、下記のとおりお知らせいたします。また、数値データにも訂正がありましたので訂正後の数値データも送信いたします。なお、訂正箇所には下線を付して表示しております。

記

1. 訂正の理由

「2022年12月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の提出後に、記載内容に一部訂正が必要であることが判明いたしました。なお、当該訂正による連結貸借対照表及び連結損益計算書への影響はありません。

2. 訂正の内容

添付資料5 ページ

経営成績等の概況

(4) 今後の見通し

【訂正前】

(気候変動への取り組み及びSDGs(持続可能な開発目標)達成への貢献)

当社グループは、長期ビジョン「Mission TREEING 2030 ～地球を、快適な住まいとして受け継いでいくために～」において、事業活動を通じて基盤となる「地球環境への価値」、そこから成り立つ「人と社会への価値」、「市場経済への価値」を社会に提供するため、9つの重要課題を特定し、それぞれSDGsに紐づいた個別指標を設定しました。中期経営計画「Mission TREEING 2030 Phase1」の基本方針の一つに「事業とESGの更なる一体化」を掲げ、RE100及びSBT(Science Based Targets)の達成等に向けた取り組みを着実に進めてまいります。なお、当社グループは、SBT SCOPE1*・2**について、2030年までに温室効果ガス排出量を2017年比で54.5%削減することを目標としております。

【訂正後】

(気候変動への取り組み及びSDGs(持続可能な開発目標)達成への貢献)

当社グループは、長期ビジョン「Mission TREEING 2030 ～地球を、快適な住まいとして受け継いでいくために～」において、事業活動を通じて基盤となる「地球環境への価値」、そこから成り立つ「人と社会への価値」、「市場経済への価値」を社会に提供す

るため、9つの重要課題を特定し、それぞれ SDGs に紐づいた個別指標を設定しました。中期経営計画「Mission TREEING 2030 Phase1」の基本方針の一つに「事業と ESG の更なる一体化」を掲げ、RE100 及び SBT (Science Based Targets) の達成等に向けた取り組みを着実に進めてまいります。なお、当社グループは、SBT SCOPE1*・2**について、2030 年までに温室効果ガス排出量を 2017 年比で 54.6%削減することを目標としております。

添付資料 14 ページ

連結財務諸表及び主な注記

(4)連結キャッシュ・フロー計算書

【訂正前】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)	当連結会計年度 (自 2022年1月1日 至 2022年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△1,399	<u>19,360</u>
コマーシャル・ペーパーの純増減額 (△は減少)	△10,000	-
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△1,887	△3,279
長期借入れによる収入	52,447	54,095
長期借入金の返済による支出	△54,174	<u>△54,109</u>
(省略)		

【訂正後】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)	当連結会計年度 (自 2022年1月1日 至 2022年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△1,399	<u>10,517</u>
コマーシャル・ペーパーの純増減額 (△は減少)	△10,000	-
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△1,887	△3,279
長期借入れによる収入	52,447	54,095
長期借入金の返済による支出	△54,174	<u>△45,267</u>
(省略)		

以上